

[別紙－1] 概要文

国道331号糸満道路における西崎高架橋の景観設計について

南部国道事務所 調査第一課長 ○眞栄里和也
調査係長 ◎伊良波 憲

1. 目的

豊見城・糸満道路は、沖縄西海岸道路の一部を形成し、国道331号の渋滞緩和、那覇港、那覇空港へのアクセス向上、那覇都市圏の交通渋滞緩和を目的に計画された道路である。

この整備によって県南部地域の活性化や物流効率化、観光支援を図ることを目的としています。整備効果の早期実現を目的とし、平成24年3月31日に全線2車線（一部完成4車含む）で開通しました。引き続き、4車線供用に向け整備を進めていきます。

そのうち、糸満道路の西崎高架橋については「沖縄総合事務局・景観検討の基本方針」に基づき景観検討を実施しました。その検討内容について報告するものです。

2. 内容

- ・西崎高架橋の概要
「道の駅いとまん」に近接する2つの交差点を跨ぐ糸満高架橋と隣接する橋梁。
橋長 L=257.0m (61.0m + 131.0m + 65.0m)
- ・景観検討内容
構造及び色彩等について検討を行います。
- ・沖縄総合事務局景観検討委員会
景観検討の内容を委員会に諮ります。

3. 結論

以下の景観検討を実施しました。【景観形成に配慮すべき事項】

- ・法規制及び地域景観の目標像（地域の景観景観の状況、都市計画マスタープラン）
- ・景観形成の目標像
路線全体のまとまりと連続性を確保しつつ、沖縄らしさを感じさせる橋梁景観
- ・設計の方針
 - 上部工 （構造物全体のまとまり。連続性の確保。色彩）
 - 下部工、擁壁（隣接橋梁との整合。沖縄らしさを感じる橋脚形状。圧迫感の軽減。）
 - 排水管、照明（眺望等を阻害しない様、配置の工夫。など）

4. 今後の問題点

- ・施工時における留意点
色彩等については、現地にて試し施工を行い再確認する。
施工管理の徹底。